

# 天気知ること命守ること

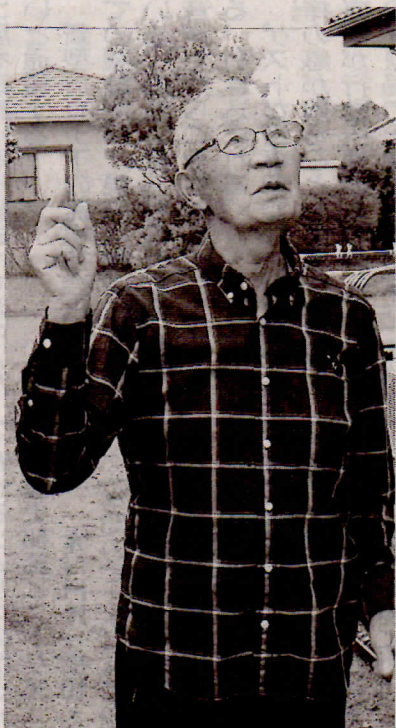
## ぴーふる

「うろこ雲が空一面に広がっている時、日本は高気圧に覆われている」「台風は天然の巨大なエンジンで、それを動かすガソリンが水蒸気」

鹿嶋市浜津賀の古川武彦さん(79)は昨年11月、「天気予報はどのようにつくられるのか」を出版した。

「天気予報はどのようにつくられるのか」出版

ふるかわ たけひこ  
古川 武彦さん(79)



(村山恵二)

ている。

「私たちの暮らしは、天気の影響を大きく受けています。気象災害や地球温暖化問題など、天気は生命に直結している。天気に詳しくなることは、自分の命を自分で守ることに通じます」

滋賀県出身。2008年に鹿嶋に引っ越してきた。広い畑でサツマイモ、タマネギなどを育てている。「晴耕雨読の毎日です」

すよ」と笑うが、気象への情熱は冷めたことはない。

「気象に関連する疑問や課題にヒントや解決法を示す羅針盤になりたい」と03年から「気象コンパス」の名を掲げて、予報技術や気象学に関する講演や執筆を行っている。市の広報にも気象コラムを執筆している。

毎年講師を務めてきた「千葉シニア自然大学」が今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になった。「一日も早く終息してほしい」と願っている。